

代表取締役
源波 信一

【事業計画名】

販路先ニーズに応える新選別技術の導入及び 効率的製造ラインの構築事業

背景・目的

手作業での選別作業では、サイズの均一化が困難

当社は、「八戸前沖さば」を中心に、八戸港で水揚げされるタラやブリ、ヒラメなどの鮮魚の仕入れと出荷をおこなう産地仲買業者です。高鮮度な鮮魚のみを取り扱うことにこだわっており、仕入れ段階においても鮮魚の見極めに注力しています。

鮮魚の美味しさや価値は鮮度で決

まるため、仲買業者は「早く」「多く」各地の魚市場や加工業者へ供給する必要があります。しかし、手作業による選別作業は作業時間の短縮と鮮度の確保が難しいこと、箱単位での重さが重視されるため、サイズの均一化が困難であること、効率的な製造ラインを構築しなければならない、という課題

がありました。



実施内容

手作業中心から機械中心の製造ラインへ

高性能な魚類自動選別機と、ステンレス製回転機を導入することにより、従来の手作業中心の作業工程から、機械中心の作業工程への転換を図ることで、作業時間の短縮化と鮮度の保持を目指しました。

機械設備の導入については、対象と

なるイカ・サバなどの魚類の種類や大きさを考慮した上で、魚類自動選別機については処理能力・サイズ等を、ステンレス製回転機については、仕様を検討して発注しました。また、製造ラインで必要になるステンレス製作業台や仕切り板等も、機械設備に合うよう発

注しました。



事業成果

出荷までのスピードが向上、自信を持って出荷できる

重量選別機を導入したことにより、100g～1kgまでで設定した6種類の重量に対して、自動で選別することが可能になりました。それまでは目視で選別し、必要なら計量器で1匹ずつ重さを量っていたため、自動化されたことによって作業時間が大幅に短縮されました。

また、ステンレス製回転機は鮮魚をタンクから作業台に移動させるため

の機械として活用し、それまで鮮魚が入った1トンタンクから作業台まで手作業で鮮魚を載せていたのが自動になったことで、腰痛など作業員の身体的負担が軽減されました。現在はこれらの機械は、主にイカ、サバの選別に使用しています。

出荷までの作業スピードが向上したことにより、県外の市場へも自信を持って出荷できるようになり、出荷量

も増えました。



ココがポイント

作業時間は半減、作業人数も5人→1人に！

機械設備の導入により、出荷までのスピードがアップ！それまで**5～6人で目視し計量してサイズ選別していたのが、自動選別機によって1人いれば作業ができるようになり、1時間かかっていた作業が約半分の30分に短縮されました。**



今後の展望

細かな選別を武器に、加工品販売にも力を入れたい

機械設備の導入によって作業時間が短縮されたことにより、鮮度や出荷量の面において、同業他社に対し優位に立つことができます。また、導入前よりも細かなサイズ選別が可能になったため、目的外の魚類の混入が避けられ、販売先の市場や小売店においてのロスの減少や陳列等の時間短縮につながっています。

温暖化によって海面の温度が上昇し

ていることで、八戸沖で以前豊富に獲れていたイカやサバが水揚げされない厳しい状況は続いています。特に八戸市が地域ブランドとして推している「八戸前沖さば」は、脂肪分が15%以上でないと認定されない厳しい審査基準があります。このような状況で、今後はキズものやロス、サイズが小さいものなどでも有効に活用していけるように、居酒屋や観光地などで販売でき

る加工品の販売にも手を広げ、ネット等を中心に販売していきたいと考えています。

有限会社マルゲン水産

代表取締役 源波 信一 ◎創業 平成元年4月 ◎資本金 300万円 ◎従業員 22名

〒031-0822 八戸市大字白銀町字昭和町9-9
TEL.0178-33-3100 FAX.0178-31-4504
URL:https://www.marugen-suisan.com/

